



2024 JR総連春闘勝利！ シリーズ⑪

若い世代にも日の目を当てろ！ ベアは全社員一律にせよ！ ベア配分交渉第1回団交

本部は本日、2024年賃金引き上げ（ベア）に伴う配分交渉の第1回団体交渉を開催しました。本部は3月26日、2024年度新賃金配分に関する申し入れ（『申第12号』）を提出し、基本給引き上げ分の7,000円は、全組合員（専任社員を含む）一律に、全てを基本給に配分することを要求しました。

会社は「要求の趣旨を踏まえつつ、新人事・賃金制度の趣旨に踏まえ、努力した者が報われる配分が過去の取り扱いである」との考えを示しました。

本部は「努力した者は、昇格・昇給で報われている。努力しないと見なされた者は昇格でもベアでも報われていない。ベアは全社員が平等に受け取らなければならない性格のものだ。物価高騰で全社員が苦勞している。生活のための物品購入は、どの等級の人も均等だ。この間のベア配分は、上位職ほど高額で、若い世代は『雀の涙』程度しかなかった。若い人の配分を少なくすれば、離職が更に進む。若い世代にも日の目を当てべきだ。これ以上格差をつけてはいけない」などと声を高らかに主張しました。また、専任社員についても、本部は「大卒初任給並の基本給で、仕事は現職と同じでは理不尽だ。調整手当も扶養手当も支給されず、手当までも冷遇されている。蔑ろにしているのか」などと主張しました。

会社は「貴側の主張を踏まえつつ検討する。専任社員も大事な経営資源である」と回答しました。

次回の団体交渉は4月9日で、配分の回答が示されます。